

えがお大東っ子 **第11号**

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkkyu/egaodaitoukko/>

大東市教育ビジョン 基本理念

学び合い、学び続ける明日の市民の育成

—学び合う力は、教育に自立と協同の文化を育む—

日頃より、大東市の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

平成24年度は、小学校13校、児童数6913名、中学校8校、生徒数3656名となっております。また、市立幼稚園2園には、259名の園児が通園しています。(いずれも5月1日現在)

「大東市教育ビジョン」が策定され、4年目を迎えています。「豊かな心」、「確かな学力」と「健やかな体」を身につけた子どもの育成をめざすとともに、「自ら学ぶ力」と「学び合う力」をその柱と位置づけて、取組みを進めているところです。「学び合う授業づくり」や「支援教育」の視点を取り入れた授業の工夫など、授業改善には成果が見えつつあります。しかし学力向上は引き続き重要な課題であり、そのためには安心して学べる環境づくりも欠かせません。すべての子どもの自尊感情を高め、お互いを大切にすることができる豊かな人間性を育む教育をより一層推進していきます。

平成24年度も、「大東のめざす子ども像」の実現に向けて、市民の皆様から信頼される魅力ある学校園づくりに努めてまいりますので、よろしく願いいたします。あわせて、子どもを中心に、学校・家庭・地域社会が協同する教育環境づくりにご協力、ご支援よろしく願いいたします。

大東のめざす子ども像

1. 「豊かな心」「確かな学力」と「健やかな体」を身につけた子ども
2. 「自ら学ぶ力」と「学び合う力」をつけた子ども
3. 自分や友達、家族を大切にし、地域を支える子ども
4. 生涯にわたって、自ら学び続けようとする子ども



学び合う授業づくり

—子どもが主体となって活動する授業へ—

各学校において、子どもが中心となる「学び合い学習（協同学習）」を進めています。クラスの全員が、心の底からみんなが伸びることを願って学習することが、協同学習です。人は安心して話し合える相手と積極的に尋ね合い、教え合う中で学びを広げ理解を深めることができます。学び合いの授業づくりは、良い人間関係づくりと学習を同時に行うものです。

「学び合い（協同学習）」の1時間の基本的な流れを紹介します。

この時間の課題は何か。この時間で何がわかればよいのか。そしてその時間の流れ（見通し）を子どもたちと確認して授業を進めていきます。子どもたちは、課題に対して一人で考えたあと、ペアやグループで思考を深めていきます。子どもたちは、それぞれの役割を果たしながらみんながわかることをめざして、尋ねたり教え合ったりします。そうすることで知識は確かなものとなり、本当の力となっていきます。最後に課題に対して達成できたかどうか、振り返りをして確かめます。

このようにして、子どもたちが主体的に学び、学ぶ方法を身につけ、学び続ける力を獲得することをめざしています。

一緒に考えましょう！

子どもの事



キッズプラザ（幸町8番8号）の2階に「教育相談室」があります。ここでは教職経験豊かな相談員が平日の午前10時から午後4時までの間、子育てに関する悩み事や相談に応じています。保護者の方はもちろん、お子さん同伴でも相談できます。

子育て、学校のこと（不登校、いじめ）、学習や進路についての悩みなど、様々なことで、『どうしたらいいのかわからない。』『誰かに相談したいけど、知人には相談しにくい。』『学校や子どものことに詳しい人のアドバイスがほしい。』と考えておられる方は、ぜひご相談ください。電話でも面談でも受け付けます。面談をご希望の方も、まずはお電話ください。一人で考えて悩むよりも、相談することによってより良い解決の糸口が見つかるかもしれません。気軽にご相談ください。

《連絡先》「教育相談室」TEL 874-8785



こども会活動の紹介

大東市こども会育成連絡協議会では、教育委員会と協力して、子どもたちがたくましく生きていく力を育むための取り組みをしています。主なものとしては、ソフトボールや駅伝等のスポーツ事業やポスターコンクール等の文化事業です。



昨年度のソフトボール大会の様子

かつての子どもたちには、周りの大人が見てくれている中、屋外で遊べる環境がありました。現代ではそういった光景を見ることは少なくなりました。そのような中、子どもたちに他人と接する環境や仲間と接する居場所を提供し、たくさんの笑顔を溢れさせるこども会活動は、地域にとってますます貴重な存在となってきています。

皆さんには、このようなこども会活動に、是非参加していただき、お住まいの地域を盛り上げていってほしいと思います。

教育委員会でも、こども会が充実した活動を行っていただけるような環境づくりで、これからも支援を続けてまいります。

家庭教育ヒントコーナー

子どもの心を理解する



子どもが気になる言動をしたとき、ついつい「～したらダメ!」「何でそんなことをするの!」と言ってしまいがちです。しかし、子どもはそのような叱責だけでは委縮したり、反射的に「とりあえず謝る」という選択をすることがあります。自分のしたことを振り返り、同じ失敗を繰り返さないようにどうすればよいのかを考えるせっかくの学びの機会を逃してしまうのです。そんな時は、まずは一呼吸おいて、なぜ子どもがそんなことをしたのか、なぜそんなことを言ったのかを考えてみましょう。きっと理由があるはずです。子どもは、そのときどんな気持ちになっているのでしょうか。理解しようという態度を子どもに示すことも大切です。子どもに、「自分のことを考えてくれているんだ」とわかるように・・・。

もちろん不適切な行動を毅然とした態度で叱ることも必要です。その場合は、決してその子自身を否定するのではなく、「～したのは間違っていたね」と行動を問題にしましょう。そして、「次からは、こうしたほうがいいね。」と適切な行動を示したり、「どうしたらいいと思う?」と一緒に考えていくようにしましょう。

「子どもの気持ちを理解する」ことは、簡単そうで、実はとても難しいことかもしれません。まずは、日頃から子どもの表情や行動をしっかり見て、子どもの言葉に耳を傾け、いろいろな場面で気持ちをしっかり受け止めていくことを心がけることから始めてみませんか。



取組み紹介 諸福幼稚園

地域の方との交流遊び

「であい・ふれあい・たのしみタイム」

諸福幼稚園では年に2回、地域の方との交流活動をしています。1回目は、伝承遊びが中心です。遊戯室で「けん玉」「お手玉」「折り紙」「こま」「かるた」、園庭で「ケンパ」「大縄跳び」「花いちもんめ」「だるまさんがころんだ」の各コーナーを20人の民生児童委員さん・福祉委員さん・ソーシャルワーカーさんなどの地域の方が担当してくださいました。子どもたちは遊び方を教えてもらったり、一緒に遊んだりしてもらいました。今年は「花いちもんめ」が大人気で民生委員のおじさんと手をつなぎ大声で歌をうたい、何度も繰り返しながら遊びを楽しみました。

子どもたちは多くの人たちとの出会いによって成長します。地域の方々のお力は子どもたちにとって、大きな支援です。活動後にご意見を伺う中で、「この交流で私たちも子どもから元気もらっています。毎年楽しみにしています。」という言葉いただきました。



「たーんすながもち どのこがほしい」



「見て、見て！かるた 5まいとれたよ！」

発見！

いや
癒しの空間 中庭

氷野小学校



アサガオやミニトマトなど子どもたちの教材だけでなく、環境委員会の子どもたちや校務員さんのお世話に支えられて、たくさんの緑に満ち溢れた場となっています。休み時間には自然と子どもたちが集まってくるそうです。

子どもたちにとっても、緑や色とりどりの花に囲まれたこの中庭は、心がほっとする癒しの空間となっています。